

# 敬老会の開催補助 求める

9月議会  
一般質問

## 大分市など県内9市町が補助

日隈市議は13日の一般質問で、敬老会の開催支援として70歳以上の参加者ひとりにつき千円の補助を求めました。県内では大分市など9市町が、敬老会を主催する自治会などに補助しています。

敬老会は、自治会などの主催で開催されています。高齢化がすす

み、敬老会を準備するのも経費を負担するのも高齢者という状況になっています。



一般質問する日隈知重市議（13日）

日隈市議は「市は敬老会の開催に対する支援を検討したことはあるか」と質問。福祉保健部長は「平成17年3月の市町村合併のとき敬老会補助、敬老記念品の贈与、敬老祝い金の支給、敬老年金を合併時に廃止し、90歳と百歳になられた方へ敬老記念品を贈ることを決めた」と答えました。

日隈市議は「敬老会の開催に対する支援について、他市の状況を把握しているか」と質問。福祉保

健部長は「17市町村のうち、大分市や別府市など9市町が敬老会に対する補助を実施している。助成金額は参加者1人当たり5百円程度から2千円程度」と答えました。

日隈市議は「70歳以上の高齢者1人当たり千円の補助を自治会などにした場合、事業費はいくらになるか」と質問。福祉保健部長は「市内に70歳以上の方が約1万6千人いる。1千6百万円が必要となる」と答えました。

日隈市議は「敬老会の開催支援を前向きに検討する。検討の課題にすることは良いか」と質問。市長は「どのような形で行うかについては、今後の課題とと思っている」と答えるにとどまりました。

# エアコン購入費を支給

生活保護  
見直し

## エアコン購入が認められたのは4件のみ

今年7月から生活保護で、エアコンの購入費が支給されるように見直されました。日隈市議は13日、生活保護利用者のエアコン購入状況と熱中症対策を質問しました。

今年6月27日の厚労省社会援護局保護課からの通知により、7月1日から冷房機器の購入に必要な費用を生活保護費として支給できるようにしました。

日隈市議は、市の取り組み状況を質問。福祉保健部長は「長期入院患者や施設利用者などの世帯を除いた生活保護世帯は493世帯。そのうち冷房機器を持っている世帯は377世帯、76.5%（8月1日時点）。生活保護の見直しにより冷房機器を取りつけた世帯は8月末で4件」と答えました。

生活保護利用者のAさんは、「エアコンがあっても、ほとんど使わ

ない。使えない。生活費が足りないから、水をかぶって暑さをしのぐ」今年の夏は、3日間だけエアコンを使った」と話してくれました。

日隈市議は「電気代を節約するためにエアコンの使用を我慢している状況を把握しているか」と質問。福祉保健部長は「生活保護利用者の中には、暑い時期は自宅で扇風機やよしずなどを利用したり、デイスーツや生きがいサロンの利用、また図書館などの公共施設などで日中を過ごしているという状況も把握をしている」と答えました。

日隈市議は「夏場にエアコンの適切な利用ができるよう夏季手当の創設を国に働きかけているか」と質問。福祉保健部長は「市は今年開催された大分県市長会に、夏季手当の創設を提案した。しかし、採択されなかった」と答えました。

日隈市議は「採択されなかった理由は何か」と質問。市長は「理由は2つある。1点は、国が制度設計すべき課題ということ。もう1点は、生活困窮であるがゆえに金を出してくれという発想であれば、年金受給者との差につながる」と答えました。

日隈市議は、国に夏季手当の創設を求めることと、年金受給者などへの冷房費補助を提案しました。